

煙害の拡大に伴い日立鉦山は周辺各地（現在の東海村・常陸太田市・高萩市・北茨城市）にも観測所を設置し、神峰山を中心とするネットワークがつくられ、専用電話を通じた気象や煙の情報が神峰山観測所に集められました。

その結果、天気が悪く風が一定方向に吹くような時は被害が広範囲に及ぶことがわかり、このような条件の日は、神峰山観測所長の判断で「警報」を出し、製錬所の溶鉦量を減らす「制限溶鉦」の方策をとり、昭和 20 年ころまで続けられました。

また、大気の状態を把握するには地上から高層までの立体的な気象観測が必要ですが、大煙突建設前には国の海洋気象台長の藤原映平氏の指導を受けて、神峰山頂で気球を使用した高層気流の観測を実施したと伝えられています。



繫留気球を使った高層気象観測の様子
(大正 4 年ころ) 【日鉦記念館提供】

大正 4 年 12 月には、当時としては画期的な「滑川高層気象観測所」が滑川地内字南オボ内につくられ、繫留気球を使った高層気象観測が大正 8 年 11 月まで続けられました。(写真参照)

国の「高層気象台」設立に先駆けること 4 年前のことでした。

【7 月の気象暦と過去の観測記録】

- ▽ 2 日 「半夏生」(雑節)
- ▽ 5 日 最高気温極値 38.5℃(1997 年)
(南西風のフェーン現象による)
- ▽ 7 日 「小暑」(二十四節気)・七夕
- ▽ 16 日 「海の日」(祝日)
- ▽ 20 日 梅雨明け平年日(関東甲信地方)
- ▽ 23 日 「大暑」(二十四節気)

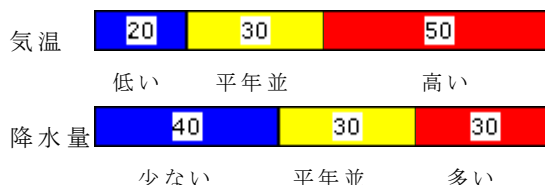
日立の気候表

	6 月	7 月	8 月
平均気温	19.1℃	22.9℃	24.8℃
降水量	169.4mm	142.4mm	148.2mm
日照時間	114.7 時間	136.2 時間	181.3 時間

平年値 (1971～2000 年)

<7 月の気温降水量の予報(関東甲信地方)>

気温は 50% の確率で平年より高く。降水量は 40% の確率で平年より少ないと予想されています。



※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~htenso>

行政放送(ケーブルテレビ 5 チャンネル)でも定期的に天気予報をお知らせしています。

電話での問合せは、直通電話 22-5520
IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。